

行政への意見や要望、苦情などの行政相談

☎ 総務課 総務法制係 ☎(232)2111



行政相談委員が公正・中立の立場から行政への意見や要望などを受け付けて、解決や実現を促進し、行政運営の改善に生かします。相談は無料で、秘密は固く守られますので気軽にご相談ください。

菊陽町特設行政相談窓口

総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員が、住民と行政とのパイプ役となり、情報提供や助言をします。予約は不要です。

- ◆日時 10月22日(土) 午後1時～4時
- ◆場所 ふれあい交流・福祉支援センター

新たに、「デジタル推進室」と「総合体育館開設準備室」を設置しました

☎ 総務課 人事秘書係 ☎(232)2111



デジタル推進室

9月1日付で7人に辞令が発令され、行政のデジタル化を推進するため、「デジタル推進室」を設置し、今後さらに全庁的な取り組みを進めていきます。

総合体育館開設準備室

9月1日付で8人に辞令が発令され、来年度に開設を予定している総合体育館の開設に向け、「総合体育館開設準備室」を設置し、準備を進めます。

菊陽町中小事業者事業支援金の申請を受け付けています

☎ 商工振興課 ☎(232)2165



原油価格や物価高騰の影響を受ける町内の中小事業者を支援することを目的に、常時使用している従業員の数が100人以下の中小事業者に対して、支援金を交付します。

- ◆対象者 申請日時点で、事業を継続して営んでいる中小事業者で、次の要件(1)～(3)のいずれかに該当する個人または法人。
 - (1)町内に店舗を構えている法人または個人事業主
 - (2)町内に住民登録がある個人事業主
 - (3)町内に法人登記がある法人
 ただし、次の①～③のいずれかに該当する事業者は、対象となりません。
 - ①菊陽町暴力団排除条例に規定する暴力団や暴力団員に該当する事業者
 - ②農業経営コスト高騰対策支援金事業の対象となる事業者
 - ③菊陽町福祉3分野一時支援金事業の対象となる事業者

◆支援金の額

申請日時点で、雇用している従業員の数
50人以下の事業者は5万円、51人以上100人以下の事業者は10万円とします。

※従業員数は、法人の全ての事業所で雇用している従業員の数です。正社員だけでなく、アルバイトやパートを含む場合があります。詳しくは、商工振興課にお問い合わせください。

◆申請期限 12月27日(火)

◆申請に必要な書類

交付申請書、誓約書、従業員数確認表、事業所の外観および店内の写真、振込先の口座の通帳の写し、その他事業形態により必要な書類
(交付申請書などの様式は、町ホームページに掲載しています。)



町ホームページ

大津熊本道路建設に伴う建設発生土の仮置き場を募集します

☎ 熊本河川国道事務所 工務第三課 ☎(382)1216

国土交通省 熊本河川国道事務所では、中九州横断道路 大津熊本道路建設に伴う盛土工事を予定しています。

- 土砂の有効活用のため、周辺地域で土砂の一時的な仮置き場を募集しています。
- ◆応募期限 令和7年3月末



町ホームページ

防災情報

☎ 危機管理防災課 ☎(232)2110



Jアラート緊急地震速報訓練

町内の防災行政無線を使って、大地震を想定した訓練放送を行います。放送に合わせ、その場で「安全行動」を行ってください。

- ◆日時 11月2日(水) 午前10時ごろ
- ◆内容 次の「安全行動」を1分程度行ってください。
 - ①姿勢を低くする
 - ②体や頭を守る
 - ③揺れが収まるまで動かない



※訓練後は避難場所・避難経路の確認、非常持出品の確認を行うなど、防災対策に取り組みましょう。

◆放送内容

「(緊急地震速報チャイム音)緊急地震速報。大地震です。大地震です。これは訓練放送です。」(3回繰り返す)
※気象状況によっては、訓練放送を中止します。

災害時の人員及び車両等の提供に関する協定を締結

町は、(株)ジェイコム九州と8月29日、災害時の人員及び車両等の提供に関する協定を締結しました。これは、大規模災害時に必要に応じて、人員および車両などを提供してもらうものです。

同社の上村社長が「これからも安全・安心なまちづくりに貢献できるように取り組んでまいります」、後藤町長は「物資の搬送力が強化され、円滑な避難所運営や避難者支援ができるようになり大変心強く思っている」と話しました。



中央左：後藤町長 中央右：ジェイコム九州上村社長

「防災士養成講座」を開催しました

8月20日、21日、27日の3日間、町は、防災の地域リーダーとなる人材を養成するため、菊池市・合志市・大津町と合同で「防災士養成講座」を開催しました。約90人が「気象災害・風水害」「防災士に期待される活動」など12コマの講義と「避難所運営ゲーム(HUG)」の全13コマの受講を修了し、最終日に日本防災士機構による防災士資格認証試験を受けました。

今回、町から15人が防災士の資格を取得しました。今後、地域や職場で防災知識の啓発や減災などの取り組みが期待されます。

災害が激甚化する中、防災士の社会的評価と

期待は急速に高まっています。災害から大切な命を守るために、資格の取得を目指しませんか。



避難所運営ゲームをする受講生たち